



International Organization for Migration (IOM)
The UN Migration Agency

「移住に関するグローバル・コンパクト(GCM)」の背景と今後の課題

千葉大学「未来型公正社会研究」第5回国際シンポジウム
於 国際文化会館講堂

平成30年12月16日

国際移住機関 駐日代表 佐藤 美央

目次

1. 人の移動: グローバルな課題
2. 「安全で秩序ある正規の移住に関するグローバル・コンパクト」(GCM)について
3. おわりに

1. 人の移動: グローバルな課題

- 地球規模の事象: 2億5,800万人の国境を越えた人の移動
およそ世界人口の3.4%が国際移民
- 1億5,000万人の移住労働者(国際移民の約65%)
- 増加する排他主義と移民への差別
- 人の移動(移住)が含まれた最近の多国間合意
 - 2030 持続可能な開発目標(SDGs) 2015年
 - アディス・アベバ行動目標(開発資金会議) 2015年
 - 仙台防災枠組み(2015-2030) 2015年
 - 気候変動に関するパリ協定 2015年
 - ニュー・アーバン・アジェンダ(HABITAT III) 2016年
- 人の移動に関する、より包括的、長期的なビジョンが必要



1. 人の移動: グローバルな課題

1980年代以前

- 国レベル、あるいは二国間での議論、課題優先。

1980年代から2000年代

- グローバル化と相互依存に関する認識。人の移動の地域レベル、地球レベルでのトレンドの認識。

2010年代

- 開発課題の一つとの認識。

1990年代以降の国際的な動き

- 1990年 すべての移住労働者とその家族の権利の保護に関する国際条約
- 1994年 国際人口開発会議(ICPD) 行動計画(第10章 国際移住) カイロ宣言
- 2006年 第1回 人の国際移動と開発に関するハイレベル対話(HLD)

最近の重要な動き

- 2013年 第二回 人の国際移動と開発に関するハイレベル対話(LHD)
- 2015年 2030持続可能な開発アジェンダ(SDGs)
- 2016年 難民と移民に関するサミット(NY宣言)
- 2018年 移住に関するグローバルコンパクト(GCM)

2. 「安全で秩序ある正規の移住に関する グローバル・コンパクト」(GCM)について



1) GCMとは

2) GCM策定の過程

3) GCMの意義と課題

2. 「安全で秩序ある正規の移住に関するグローバル・コンパクト」(GCM)について

1) GCMとは？

- 国際的な移住のあらゆる側面を含む、国際的な政府間合意。移住に関する協力の土台を提供。
- 法的拘束力のない、協力の枠組み。
- 23の目標を設定。それぞれの目標に、目指すゴールと可能な行動のリスト。
- 二つの中心となる要素：①国家の主権の尊重、②各国の移住政策実施における国際協力の重要性。
- 加盟国及び市民社会を始めとする幅広い参加者による18か月間の協議と交渉によって合意された文言。

2. 「安全で秩序ある正規の移住に関する グローバル・コンパクト」(GCM)について

2) GCM策定の過程

- 「難民と移民に関するニューヨーク宣言」
(A/RES/71/1) (2016年9月19日 難民と移民
に関する国連ハイレベル会合)

- ✓ 難民と移民の課題への取り組みのコミットメント
- ✓ 二つのグローバル・コンパクト策定へのコミットメント

- GCM策定過程

- ✓ Phase 1: コンサルテーション(2017年4月～11月)
- ✓ Phase 2: レビュー(2017年11月～2018年1月)
- ✓ Phase 3: 加盟国間交渉(2018年2月～7月)
- ✓ 採択のための政府間会議の開催(2018年12月10
-11日 於 モロッコ)

2. 「安全で秩序ある正規の移住に関する グローバル・コンパクト」(GCM)について

3) GCMの意義と課題:

意義

- 圧倒的多数の加盟国の支持。
- グローバルな見地からの目標と、人の移動が共通の課題であるという認識。
- 移住を止めたり、促進したりするためでなく、よりよく管理された移動性を確保する目的。
- 各国が移住に関する課題への取り組みの進捗状況を定期的に確認していくことへのコミットメント。

2. 「安全で秩序ある正規の移住に関する グローバル・コンパクト」(GCM)について

3) GCMの意義と課題：

課題

- 実施及びフォローアップ・レビューについて
 - キャパシティ・ビルディングの仕組みの構築
 - 国連移住ネットワークの設立
 - 事務総長は、国連総会に対して、二年に一度、グローバル・コンパクトの進捗状況を報告。
 - 国家、地域レベルでのレビューやフォローアップと国際移住レビュー・フォーラム(4年に一度開催)との関係。

3. おわりに

グローバル・コンパクトの採択は、国際社会にとって画期的な一歩：

- 移住に関する取り組みの枠組みの設定。
- 実施過程が重要。
- より具体的な方法を確立することで、移住を、必要に基づくものから、選択によるものへ。
- 移民にとっても社会や国家にとっても、双方に有益な行動への期待。
 - 正規の移住へのチャンネルを増やすこと。
 - 人種差別主義や排他主義、人身取引や密入国などに対するより強い措置の可能性。
 - 地域レベル、国家間での協力とパートナーシップの強化。



ありがとうございました。

佐藤 美央

msato@iom.int

<http://www.iomjapan.org/>

<http://www.iom.int/>
